

1 一人一人の「伝えたい！」を大切にした ゴール活動を設定

各 Unit には、児童が興味・関心を持ち、意欲が高まるようなゴール活動を設定しました。児童の「知りたい!」「伝えたい!」という気持ちを大切にできるような活動を精選しています。

She is my hero!

What color do you like?



友達の好きな色を聞いて、
誕生日カードを塗ったよ!
(5年 p.33 Unit 1 クラスの誕生日カレンダー作り)

私のヒーロー・阿部詩選手のすごさを
みんなに伝えたい!
(5年 p.65 Unit 5 My Hero 紹介)

伝わるってうれしい!

「相手意識」を大切に
できる場面を随所
に設定しました。



新しい ALT の先生には、
春の満開の桜を見てもらいたいな!
(6年 p.29 Unit 2 日本の行事紹介)

安心して取り組める、 アレンジしやすい活動を精選

ゴール活動には、大掛かりな準備や設定の必要がなく、これまでの外国語科でも広く実践されてきた活動を中心に設定しました。安心して取り組み、学校の実態に合わせたアレンジもしやすい内容です。

目的・場面・状況を明確に設定

児童が「伝えたい!」と思えるように、コミュニケーションの目的や場面、状況を明確にしました。誰に何のために伝えるのかという視点を大切に、自分の考えや気持ちを表現する活動を Unit の中心に据えました。

Welcome to our town!



私たちの町のよさを、
世界の人に知ってほしい!
(5年 p.97 Unit 8 町紹介)

君の夢も
知りたいな!



中学生になったら、
あこがれの部活に入るんだ!
(6年 p.81 Unit 7 夢宣言)

Polar Bear



I live on the ice.
I'm big and white.
I eat fish.
I want a lot of ice.



動物を守るポスターを
作ろうよ!
(6年 p.59 Unit 5 絶滅危惧種の動物ポスター作り)

「他教科」の学習が生
かせる活動を置き、児
童の意欲が高まるよう
にしました。

「本物の」ことばの学びを

子どもたちが、自分の本当の考えや
気持ちを伝え合うことができるよう
に、言語活動を通して、語句や表現
を学ぶことが大切です。Here We
Go! では、子どもたちの「伝えたい!」
という気持ちを中心に据えた「本物
の」言語活動を設定しています。

かとうひろゆき
加藤拓由

Here We Go! 編集委員
岐阜聖徳学園大学准教授



2 「既習表現」の活用場面を随所に設定

Unitのゴール活動をより充実させるために、既習表現を思い出して活用できるようにしました。

学んだことを生かせるように

ここで例とする6年Unit1では、右の表現を学びます。しかし、ゴール活動にはこれらの表現だけでは不十分です。考えや気持ちを伝え合うためには、既習表現の活用が欠かせません。より深いゴール活動のために、Small TalkやPlus Oneなど、既習表現を生かせるように工夫しました。

6年Unit1で学ぶ主な表現

- Where are you from? I'm from
I live in
- I'm good at I'm interested in

思考力・判断力・表現力を育む「漆塗り」の設計

何度も塗り重ねて完成させる漆工芸の「漆塗り」のように、1つのUnitの中でも、既習表現に何度も触れられるようにしました。Unitのゴール活動では、数々の表現を自分なりに駆使して、自分の思いを伝えようとする中で、思考力・判断力・表現力が育まれるようにしました。

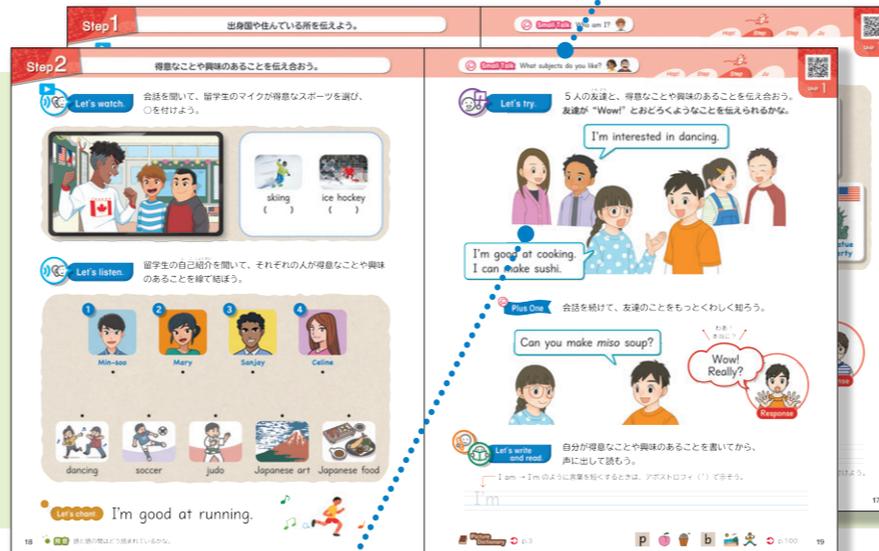


Small Talk

Small Talkのミニアニメは、Step 1, 2の紙面にも設定。このミニアニメを話題の手がかりにして、先生は児童とのSmall Talkに展開できます。

Small Talk What subjects do you like?

Asha: Shota, **what subjects do you like?**
Shota: **I like** home economics.
Asha: Oh, really?
Shota: Yes. I'm good at cooking.
Asha: Great!
Shota: How about you, Asha? (続く)



Small Talk

Small Talkのミニアニメを設定。キャラクターが視聴者に語りかけます。右のスキプトの赤字部分は既習表現です。

Small Talk Let's have a party.

Asha: Hello, everyone.
Um ..., **my name is** Asha Bindra.
Please call me Asha.
I'm from India.
I live in Kanagawa now.
Today, **we have** a party at school.
We have special guests.
I'm excited.
Let's go to the classroom!

Can you make *miso* soup?

Let's try. と Plus One

Let's try.ではこのUnitで学ぶ表現を使って活動します。さらにPlus Oneでは、自分なりに既習表現を加えて活動を続けます。

このように **I like~. I can~. We have~.** など、小学校3年生から触れてきた表現に何度も出会うことができます。

Let's watch and think.

異文化理解を促す Let's watch and think.の映像にも、既習表現がたくさん! ゴール活動の発話のヒントになります。

Hi. I'm Sion. I'm from Korea.
I live in Seoul.
I'm good at taekwondo.
Taekwondo is Korean martial art.
I can do a high kick.
Can you do a high kick, too?



Phrase Huntでは、上のようなスライドをみんなで見て、ゴール活動で使えるような既習表現をクラス全体で考えて共有します。

2 「既習表現」の活用場面を随所に設定

指導のきっかけになる
Small Talkのミニアニメ

各 Unit には、教室での Small Talk のきっかけになるミニアニメを新設しました。Here We Go! のキャラクターたちが、教室の児童に問いかけます。先生はキャラクターの問いに答える形で、自身の Small Talk へと自然に展開できます。

楽しい話題がたくさん!

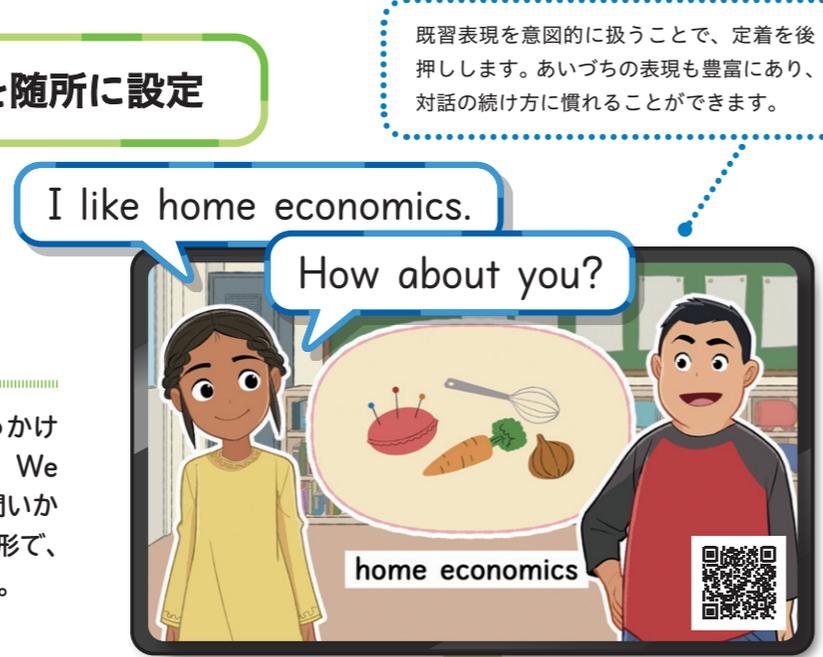
すべての Small Talk を先生がゼロから準備する必要がなく、負担感の軽減にもつながります。



5年 p.93 Unit 8 Step 1 Small Talk



5年 p.95 Unit 8 Step 2 Small Talk



既習表現を意図的に扱うことで、定着を後押しします。あいづちの表現も豊富にあり、対話の続け方に慣れることができます。

6年 p.19 Unit 1 Step 2 Small Talk



キャラクターからの質問に答える形で、教室での Small Talk を自然に始められます。20～30秒程度の映像なので、導入にピッタリです。

試行錯誤しながら伝え合うことの大切さ

子どもたちが自分の本当の考えや気持ちを伝え合うためには、それまでに学んだ語句や表現を活用する必要があります。Here We Go! では、何度も塗り重ねて完成する漆工芸の「漆塗り」をイメージして、既習表現を何度も耳にしたり、口にしたりする機会を豊富に設けています。



ひがし ひとみ
東 仁美
Here We Go! 編集委員
聖学院大学教授

会話を続ける力が育つ
Plus One

Plus One は、一つ前にある Let's try. で扱った話題を別の相手に伝えたり、さらに詳しく相手に尋ねたりする活動です。自分なりに既習表現を加えて伝えようとする中で、思考力・判断力・表現力を養い、会話を続ける力を育めるようにしました。

Let's try. の活動に補足して行えるため、自然な流れの中で負担なく取り組むことができます。



6年 p.19 Unit 1 Step 2



6年 p.21 Unit 1 Jump! Phrase Hunt

中間指導に役立つ
Phrase Hunt

Unit の Goal には既習表現を思い出すための Phrase Hunt を新設しました。QRコードから見られる表現をヒントに、他に使えるような表現を探し、クラス全体で共有する協働的な学びが実現できます。中間指導にも役立ちます。

使える表現をさがして、みんなで共有しよう。



ゴール活動の前に Phrase Hunt の画面をヒントにして教室で話し合うことができます。使いたい既習表現を加えることで、より深いゴール活動が実現できます。

3 本体から取り外せる『Picture Dictionary』を各学年に用意

巻末の絵辞典は教科書本体から取り外しが可能になり、より児童が使いやすい仕様になりました。

教科書と並べて使える！
取り外しができる絵辞典

Picture Dictionary は教科書本体から取り外しができるので、教科書と一緒に開いて参照できます。活動の際に言いたい言葉を探したり、教科書の4線に書き写したりする際に役立ちます。



取り外しができて、本体の元の位置にピッタリと戻せる Book in Book 形式です。

学習者用デジタル教科書
+ 教材なら

- ノリノリのリズムで単語ジングル音声再生できる！
- 「カルタゲーム」「マッチングゲーム」「フラッシュカード」などの自習コーナーで楽しく学べる！
- 「My 単語」を追加できる！

16 人

キャラクターによるセリフがあるので、言葉を使う場面のイメージがもてます。

grandmother	grandfather	mother	father
brother	sister	me	friend
neighbor	Who is that? She is my mother. She is a nurse. She is kind.		

17 職業 job

actor	comedian	singer	artist
athlete	baseball player	tennis player	figure skater
chef	baker	farmer	florist

18 性格、人がらなど

active	brave	cool	famous
friendly	kind	strong	cheerful
funny	smart	shy	

職業を表す言葉には、どんな共通点が見つかるかな？

teacher	journalist	designer	robot creator
vet	dentist	nurse	doctor
astronaut	firefighter	zookeeper	

すべての単語が4線にあるので、書き写すときに便利です。

随所に「MEMO」「日本語と比べよう」を設け、気づきを促します。

MEMO 秋は fall だけでなく autumn とも言うよ。

日本語と比べよう 日本語では、レストラン、スタジアムと発音するけれど、英語ではどう聞こえるかな。

足跡マーク

前の学年で出会った語が一目見てわかるように「足跡」で示しました。

3・4年生で慣れ親しんだ語※1

5年生の教科書で扱った語

各学年の言語活動に
フィットした語句を厳選

各学年の Unit の言語活動で使いやすい語句を厳選し、紙面を構成しました。適度な分量で、圧迫感なく安心して使えます。

家庭での学習でも繰り返し聞けるように、すべての語の音声を QR コードに収録しました。

自分が使いたいと思う言葉を書き足せる「My 単語」欄を用意しました。

英語学習の強い味方に

後半には「教室英語」や「Response」の一覧、3・4年生で親しんだ表現を一覧で確認できる「外国語活動のふりかえり」ページなどを設けました。授業で困ったときに助けてくれる、子どもたちの強い味方になる絵辞典です。

6年 p.19「教室で使う英語」では、オンライン通話で使えるような表現を新たに紹介。

Can you hear me? (聞こえますか。)
オンラインで話すときにも使ってみよう。

ほしいものを聞いてみよう

何がほしい? What do you want?

5年 p.20-21「外国語活動のふりかえり」では、文部科学省発行の中学年教材 Let's Try! で扱う表現を一覧にしました。